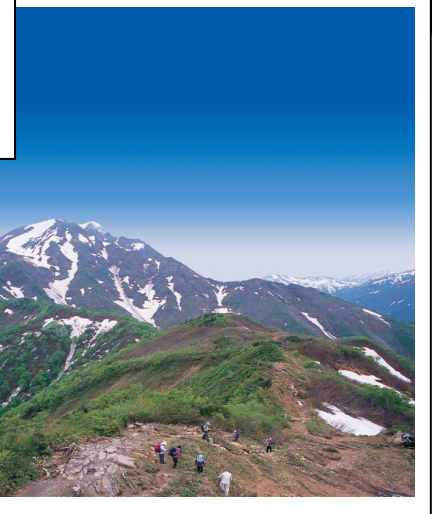


安全報告書（2011年）

【谷川岳ロープウェイ】



【榛名山ロープウェイ】



谷川岳ロープウェイ株式会社

目次

- 1 安全基本方針と重点目標
 - (1) 基本方針
 - (2) 重点目標
- 2 事故等の発生状況とその再発防止措置
 - (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）
 - (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）
 - (3) インシデント（事故の兆候）
- 3 輸送の安全確保のための取組み
 - (1) 人材教育
 - (2) 応急下降訓練
 - (3) 安全確保のための諸施策
- 4 当社の安全管理体制
- 5 利用者の皆様へ
- 6 お問い合わせ先

ごあいさつ

日頃は谷川岳ロープウェイをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社におきましては、谷川岳ロープウェイを始め、天神平スキー場リフトおよび榛名山ロープウェイの各索道事業を行っています。

日本百名山のひとつである谷川岳とそれに連なる山々の大パノラマを楽しむことができる谷川岳ロープウェイや、11月下旬から5月上旬までのロングシーズンとパウダースノーが自慢の天神平スキー場、さらには、群馬近郊にありながら関東平野を一望できる榛名山の頂上に立つことができる榛名山ロープウェイ等水上地区および榛名地区の観光、スキー、登山などに訪れるお客様の交通手段として、索道（ロープウェイ、リフト）の安全な運転をご提供しております。

当社は、企業理念の第一に安全の確保を掲げ、運転の取扱いや維持管理などにおけるコンプライアンス（法令遵守）を徹底し、お客様に対して安全・安心を確保することに努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成22年度の輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自らの取組みに不足する部分がないか振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものであります。

皆さまからの声を輸送の安全に役立てるため、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

谷川岳ロープウェイ株式会社

取締役社長 伊藤 正明

1 安全基本方針と重点目標

(1) 安全基本方針

当社の企業理念の第一は、安全を最優先とし、地域社会から信頼される企業を目指しております。社長、役員および職員（職員に準ずるものを含む）は、次の安全基本方針に則り、輸送の安全確保を図っております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を把握するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故または災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 重点目標

お客様に安心して快適にご利用していただくために、次のとおり重点目標を定めています。

- ①安全、安心の徹底を図る
- ②お客様に満足してもらう
- ③従業員相互に協力し情報の共有化を図る

2 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成22年度における索道運転事故はありませんでした。引き続き運転事故防止に努めます。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

平成22年度における災害における運転停止はありませんでした。

なお、強風や襲雷による安全確保のため、下記のとおり運行の一時見合わせを行っています。

谷川岳ロープウェイ	計 1 日	延べ	8 時間
天神峠、天神平、高倉山各リフト	計 5 0 日	延べ	1 4 8 時間
榛名山ロープウェイ	計 1 1 日	延べ	4 4 時間

(3) インシデント（事故の兆候）

平成22年度における国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。引き続き事故防止に努めます。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のため、安全に関する社内の教育や、関東鋼索交通協会主催等社外の研修にも積極的に参加し、索道技術の向上や知識の習得に努めています。

平成22年度に実施または受講した主な教育等は次のとおりです。

(社外教育)

日本ケーブルテクニカルセミナー	5/19～21	2名受講
索道技術管理員等講習会	6/10～11	2名受講
索道技術管理者研修会	9/16～17	3名受講
雪崩用煙火従事者保安教育講習会	10/22	4名受講
第三級陸上特殊無線技師講習会	11/19	2名受講

(2) 応急下降訓練

毎年、定期点検で営業を休止する期間を利用して、関係職員にて応急下降訓練（緊急時の救助）を実施しています。

平成22年度に実施した応急下降訓練は次のとおりです。

谷川岳ロープウェイ 応急下降訓練

5/29 6/3 6/16 6/25（4日間、延べ18名参加）



本年は警察・消防救助隊との合同訓練を実施しました。

谷川岳天神峠リフト 応急下降訓練 6/25 11/30

(2日間延 10名参加)



榛名山ロープウェイ 応急下降訓練 3/18 6/20 9/12 12/5 (4日間延 28名参加)



(3) 安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため、計画的に機器の整備や工事等を実施しております。

平成22年度に実施した主な整備・工事等はそのとおりです。

① 谷川岳ロープウェイ

- ・ロープウェイ運休整備
各所点検給油、制動試験 (6月21日～25日実施)
- ・減速押送装置Vベルト交換調整
天神平、土合口両駅 (6月～8月実施)
- ・加減速押送インバーターモーターオーバーホール
2機実施 (6月～8月実施)

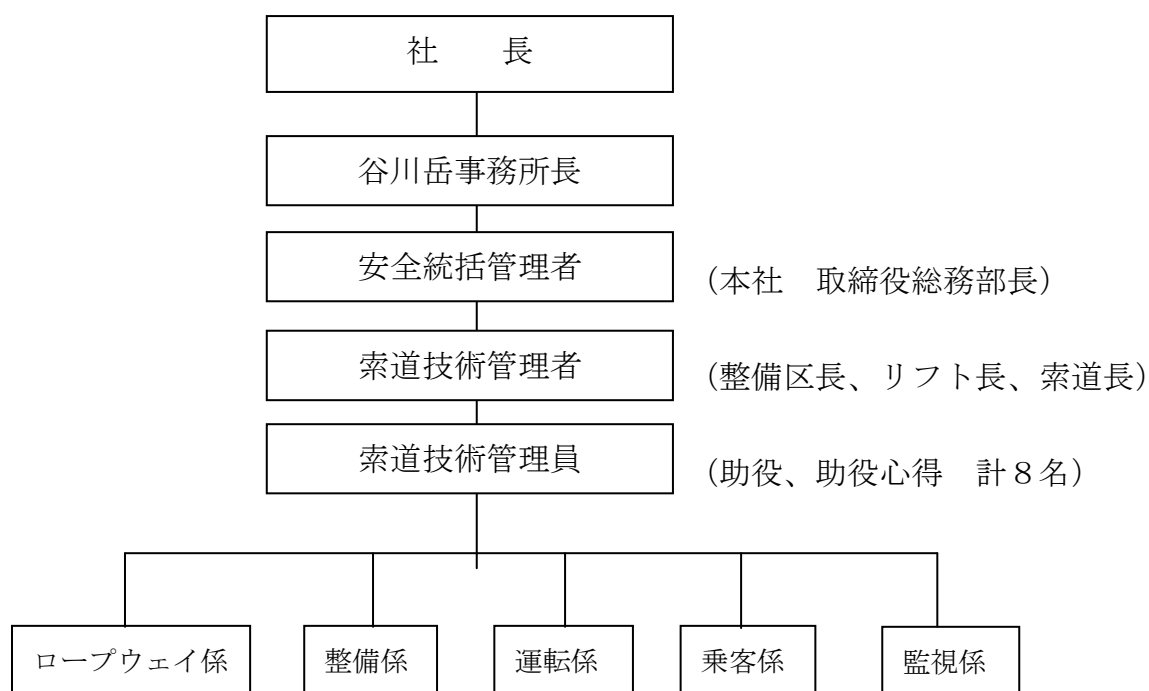
② 谷川岳リフト

- ・天神峠リフトワイヤーロープ交換工事 (6月実施)
- ・天神平リフト山頂監視所更新工事 (8月実施)
- ・高倉山第2リフト風速計更新及び塗装工事 (10月実施)

③ 榛名山ロープウェイ（3月8日～12日実施）

- ・ 索輪交換工事
- ・ ロープウェイ線路各所金物・オイル交換工事
- ・ 制動試験、ロープ測定
- ・ その他点検整備

4 当社の安全管理体制



社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
谷川岳事務所長	社長の下、索道事業の輸送の安全確保に努め営業面全般を統括する。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する。

5 利用者の皆様へ

当社では輸送の安全確保のため利用者の皆様に対しましてロープウェイおよびリフト乗車時の注意事項を次のとおり定めています。

- ①改札および乗車の際は係員の指示に従ってください。
- ②指定の乗車位置でお待ちください。
- ③搬器への飛び乗りや飛び降りは大変危険ですからおやめください。
- ④ペットは誘導網（リード）またはケージの中へお入れください。
(ただし、不潔または悪臭のため他のお客様のご迷惑となるものは禁止いたします)

6 お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等へのご意見・ご要望その他お気づきの点がありましたら、下記にご連絡ください。

平成23年6月23日

〒379-1728

群馬県利根郡みなかみ町湯檜曾湯吹山国有林

谷川岳ロープウェイ株式会社

谷川岳事務所

TEL 0278-72-3575

FAX 0278-72-5834

E-mail: mail@tanigawadake-rw.com

榛名山ロープウェイ

TEL 027-374-9238

FAX 027-374-9278